

磐田 NPO 交流センター通信

磐南地域のまちづくりへ

昨年（平成十四年）磐田市では、まちづくりサポーター制度が創設され、様々なまちづくり活動へ人的な支援を行うシステムができました。昨年度の交流センター通信では、そのまちづくりサポーターのみなさんの活動を中心に誌面を構成してきました。

員のみなさんに磐田以外の町村を取材してもらいました。五つの市町村では市民活動を推進・支援する担当部署も姿勢も違います。

磐田市・福田町・竜洋町・豊田町・豊岡村の一市三町一村の市町村合併は、住民発議によるものとして肅々と協議が進められています。静岡・清水の二つの市の合併でさえも、なかなか噛み合わない部分があったように、五つの市町村の様々なすり合わせ事項は、当然行政が進めていくことではありますが、まちづくりは、行政だけが行うものではありません。我々、市民活動、NPOを推進する民間組織も広域での活動を見据えて何らかの行動を起こさなければいけないと思います。

そこで今年度の磐田NPO交流センター通信では、一市三町一村の市民活動団体とのネットワーク構築にむけて、発信していこうと思います。十五年度第一号（通算七号）では、編集委



豊岡村は、総務課が担当しています。主な活動団体としてNPO法人「しきじ土曜クラブ」があり、豊岡東小を利用して毎土曜日小学生に静岡大学の学生やALTの外国人を講師に招いて楽しい講座を開いています。

福田町は、総務課が担当しています。主な活動団体として、1996年4月設立でNPO法人の認証を5月29日付で受けた「クリエイティブ2021」があります。中学生、高校生の活動を軸に様々な体験活動を通して、思いやる心の醸成と豊かな人間関係を築き、連携を促進することを目的として、健全育成事業を行なっています。

豊田町は、企画課が担当しています。主な活動団体として、NPO法人「豊遊」があり若い人たちを中心に「どろんこミニサッカー大会」や「長藤まつり」「ドッチボール大会」などを行っています。遊びの中から地域を知り、人を知り、楽しみながら将来の地域を考える活動をしています。

竜洋町は、民生課が担当しています。NPO法人はありませんが、福祉に関するボランティアグループが多く活動しています。竜洋町にはホームヘルパー2級登録者が100名もいるそうです。他に竜洋町国際交流協会があり、初級ポルトガル語講座、中国・韓国語等の勉強会を行っています。

それぞれの地域に特徴あるNPO団体があり、その町村の市民活動をリードしており、地域に根ざしたNPOだからこそといえる活動があります。平成十七年には、一つの市となり大きな新しい磐田市の仲間となるわけです。今後とも取材活動を通じ、交流を深めていきたいと思えます。

どこの町村でも社会福祉協議会を中心としたボランティアの輪は確実にできています。しかし、生涯学習や環境・地域おこしなどのまちづくりということとなると、行政は市民活動の側面支援を意識しているものの把握しきれていないようです。NPO交流センター、そこを管理運営する磐田NPO活動推進協議会があると、磐田が必ずしも優れているわけではないかもしれません。それぞれの地域に特徴あるNPO団体があり、その町村の市民活動をリードしており、地域に根ざしたNPOだからこそといえる活動があります。平成十七年には、一つの市となり大きな新しい磐田市の仲間となるわけです。今後とも取材活動を通じ、交流を深めていきたいと思えます。

新しい年度の始まりとともに、いろいろなまちづくりの事業が動き始めました。まちづくりサポーターの動きとともに追いかけてみます。

ウィークエンドマーケット



当日は、まちづくりサポーターが準備から参加し、やさそばなどの販売にも奔走されていました。同日には、見付で、楽しい文化展が開催され、中川におよぐ鯉のぼりとともに、市内外の方々に楽しませていました。

四月二十日(日) NPO法人磐田ふれあい基金協会の主催により、家庭教育講座が磐田第一中学校体育館にて開催されました。渡邊晋三(財)モラルジョー研究所専任講師による「愛のエネルギーが子供を変えろ」をテーマに現代社会が抱える子供達に関する悩みについて講演会が行われました。サポーターが企画から参加し受付などで活動されました。

四月二十七日(日) 磐田市商店会連盟青年部主催のウィークエンドマーケットが、開催されました。

五月二十六日(日) 例年なら秋に開催される冒険キッズの宝島が、兎山公園を中心に開催され、多くの親子づれで賑わいました。

六月一日(日) 見付本通りで昨年からの時期に開催となった遠州大名行列・舞車(主催・いわた大祭り実行委員会)が開催されました。



いわた大祭り サポーターの活動

今年、企画運営からの参加依頼もあり、運営から三名、当日十五名のサポーターがそれぞれの役割に就き活動しました。事務局の青島さんは「運営から参加のサポーターの方は、当日の流れを把握し動いて下さりとても助かりました。サポーターの方抜きではもう考えられませぬ」とサポーターの活躍にエールを送ってくださいました。

サポーターへの依頼も一回

目はどんなことをしてもらい、どのように位置付けるのか模索中だったものが、二回目になると依頼内容がはっきりし、サポーターもより手際よく役割が果たせるようになります。今後も依頼者側とサポーターが継続することにより、よりよいサポート活動になっていくのではないかと思います。

夏から秋へと様々なまちづくりの事業が実施されていきます。まちづくりサポーターではない方も楽しんで、私たちのまち磐田をつくっていきましょう。(もっともっと活動はあったことと思えます。取り上げられなかったみなさん失礼いたしました。)

磐南地域まちづくりの仲間

NPO法人

しきじ土曜倶楽部(豊岡村)

子供たちの手が少し離れてきた豊岡村敷地地区の親たちが中心となって、地区の子供たちが減り続けることに歯止めをかけ、若年層の世帯が安心して子育てができるよう住みやすい環境づくりを目指し、平成十四年七月にNPO法人「しきじ土曜倶楽部」を立ち上げました。

毎週土曜日の午前中、東小の特別教室を利用して、五十名の児童が、静岡大学教育学部英語科の学生と、外国人英語講師による生きた英語をパソコンやスポーツ、簡単な



静岡大学の学生の講師

ゲームなどをしながら楽しく学んでいます。今年度から二年生ずつに別れてカリキュラムを組み、各クラスに外国人講師一名、静岡大学の学生が二名以上ついていきます。

朝六時半に静岡に集合し、車乗り合わせて来ている学生たちは「教師を目指す自分にとってすごく良い経験になります。毎回チームを組んで事前のプランをたててきても子供の反応がよくないこともあります。サポーターが、子供が良い反応をしてくれるとすごく嬉しい」と快活に話してくれました。

子供たちは、ふだん触れあうことのない外国人講師から直に英語や外国の生活の話などを聞くことで、視野が広い国際人としての感覚が育ち、学校とは違ういきいきとした表情で活動しています。また保護者にとっては週五日制に対応して子供たちの学力低下の問題が心配であり、親が仕事で留守の家庭においても安心して託せる場所となっています。

木下校長からも理解ある協力を得て、「この地域の未来を支える子供達にいきつかけを与えてあげたい。大人がやってあげられることは何か」



外国人講師と学ぶ

と、常に会のみなさんで考えている様子でした。

感性豊かな子供たちの才能を尊重し、遊びの中からゆとりと躰を育み、青少年の健全育成の場所になるため、地域色を活かした活動にこれからも期待したいと思えます。

NPO法人

「しきじ土曜倶楽部」

代表者 金子 祐輔(かねこ ゆうすけ)
事務局 磐田郡豊岡村

連絡先 TEL 〇五三九
(六二)二五六三
土曜日午前中

これからも、磐南地域のまちづくりの仲間を紹介していきます。みなさんからの情報お待ちしています。



いわた子ども劇場

代表 鈴木 美津江すずき みづえ
連絡先 磐田市二之宮 四二二一四

TEL (三四) 五三六七

設立 一九八一年

構成 五十七名

低学年 三歳～三年生までの

高学年 四年生～成人までの

親子

活動目的・内容

すぐれた舞台芸術を見たり、聞いたたりする中で、親と子が感動をこめて話し合える場を作り、子どもたちの友情と自主性、創造性を育て、健康で明るい豊かな児童文化を創っていきます。

生の舞台を観る例会活動とのびのびと自由に活動できる集いを自分で企画する自主活動との二本を柱にしています。舞台は、年三本くらいを低学年、高学年とに作品を分けて観ています。自主活動は、二ヶ月に一回、時期に合わせてみんなで考えて集まります。その他、ファミリーキ

キャンプ、ドラマスクールなども行っています。
参加方法 会員制随時入会可
月会費 一人 一〇〇〇円
入会金 五〇〇円



いわた子ども劇場

向笠地区社会福祉協議会

代表 寺田 佳弘てらだ よしひろ
事務局 磐田市向笠 竹之内二三

TEL (三八)〇二一九

設立 一九九九年四月

構成 八十二名

活動目的・内容

向笠地区において、住民参加の福祉活動を行うことにより、地域福祉の向上を図り、住民の福祉理解と活動への参加を促進し、地域住民が支え合い助け合える心豊かなまちづくりを推進しています。
①子育て支援活動の推進
②高齢者・障害者介護の支援

③高齢者・障害者の生きがい活動の推進
④地区住民の健康維持活動の推進
⑤地区内の地域福祉活動の連絡調整

参加・協力方法

向笠地区の福祉関係団体によって構成しています。

その中の福祉ボランティアさつき会員は希望参加で、高齢者の生きがい活動の運営を行っています。現在会員二十名。
会費等 市社協の助成、地区助成で運営しています。



向笠 高齢者生きがい活動 (リフレッシュの集い)

磐田ニューモラル友の会

代表 澤井 庄三郎さわいしやうざぶろう

連絡先 磐田市住吉町 一五二二一一

TEL (三二) 五〇一七
構成 五名
活動目的 磐田市の「心と心の通い合うまち」都市宣言に添うよう奉仕活動をしています。

活動内容

「財団法人モラロジー研究所」発行のニューモラル小冊子の配布と講演会の開催 等

参加・協力方法

ご賛同くださる方を歓迎します。
会費等 会費・資格はいりません。

磐田日豪友好協会

代表 高塚 勝久たかづか かつひさ
事務局 磐田市鳥之瀬 二二二一一

TEL (三四) 八六八五

設立 一九九六年十一月

構成 一〇五名(男子五十名・女子五十五名)

活動目的・内容

「国際社会の中で心豊かにたくましく生きる子供たち」の育成をめざして、一九九六年からオーストラリアのケアンズ市と、磐田地域の子供たちの交換ホームステイプログラムを中心とした交流事業を行っています。

二〇〇二年九月にはケアンズ市から二十二名の小学生と、三名の引率教師、合計二十五名が一週間ホームステイをし、ながら地域の小学校を訪問するなどして、地元の人たちと

多くの交流を持ちました。また、旧見付学校やジュビロスタジアムなども見学し、日本の文化についても紹介することができました。

二〇〇三年は磐田の子供たちがオーストラリアを訪れる番ですが、今年特別にオーストラリアからも、小・中・高校生で構成された子供たちによるケアンズストリングスオーケストラが九月に来磐し、演奏・交流します。

このように相互に行き来をしながら未来を担う子供たちが、早くから異国、異文化との相互理解を深め、国境のない心で平和な世界を築いていくてくれることを願っています。

参加・協力方法

子供たちの交流に何かしら力になりたいと思ってくださる方、まずは事務局にご連絡ください。

会費等

個人会員 年会費 一〇〇〇円
家族会員 年会費 二〇〇〇円



オーストラリアからのホームステイ ジュビロスタジアム訪問

鎌倉に 行って きました!



六月十日(火)、磐田NPO活動推進協議会では初めての視察交流会が二十一名(市職員三名)の参加で行われました。

研修先は、鎌倉市市民活動センターです。鎌倉市の人口は十七万人。山、海とも近く、面積は三十九平方キロメートルです。

鎌倉市市民活動センターは、全国初の公設市民運営型のNPOセンターで、拠点となる施設は、鎌倉と大船にあります。今回視察した「NPO鎌倉」は、磐田NPO交流センターと同様、使われなくなった建物を利用して行っていました。事業内容や定款・予算について担当者から説明を伺い、市民活動に対する鎌倉市民の意識が早い時期から高いことに驚かされました。



鎌倉市市民活動センター「NPO鎌倉」

平成八年、市の総合計画の中で市長よりNPO支援の意向が出され、公募で市民活動支援検討委員会が設置されたのです。この委員会から出された左記の六つの提言を市長が受け、②の部分として平成十年五月にオープンしたとのことでした。

- ① 市長から支援の理念と方針の表明
- ② 会議室・作業室などの空間と機能の提供
- ③ 参画・協働・課題解決のための情報提供
- ④ 学習・研修の機会の提供
- ⑤ 人材の紹介・派遣・交流
- ⑥ 活動資金の助成・融資

運営は、検討会議から発足したNPO法人「鎌倉市市民活動センター運営会議」が行っていて、約七十名の個人会員が、様々な部会に分かれて提言にあった活動を行っています。この活動センターには、現在二六〇団体が登録し間断なく利用しています。

歴史の深さ・現状の磐田の人口九万人・合併後の人口約十七万人を考えるとちよūdoyいとところだと選択した今回の視察交流でしたが、文化・風土の違いを痛

感じました。市民活動をしている人々の熱意の差が活発化の違いに表れているのではないかと思いました。

《感想より》

◆積極的なNPOへの取り組み方は大いに参考になります。役員の任期も四年以内という考え方、マンネリ化を防止し、組織の若返りにとって大切なことだと思います。

◆ナショナル・トラスト運動を今日まで三十年間も継続してこられた事例を聞き、感銘を受けました。鎌倉という歴史ある町でしかも首都に近く、市民が環境問題に早くめざめてくれたことが、運動をすすめてこられた力になっていると感じます。

◆事務局の「登録団体にサービスすることが交流センターの仕事です」と言われた言葉が印象的でした。



INFORMATION

理美容訪問サービス (高齢者・障害者)

主催 NPO法人
磐田ふれあい基金協会

日時 月曜日(応相談)

内容 ◆高齢者・障害者を中心に訪問理美容サービスを行います。(実費利用者負担・相談無料)

◆理美容師大募集

高齢者・障害者の方を中心に訪問理美容サービスをお願いします。(応相談)

問合せ先 磐田ふれあい基金協会

TEL(三六)〇八三三
FAX(三六)一〇八六
(留守電有)

ザリガニ釣り大会

主催 桶ヶ谷沼を考える会
日時 八月十日(日)
①十時から
②十三時から

開催場所 桶ヶ谷沼

内容 南側木道入り口集合
毎年、恒例のザリガニ釣りです。

持ち物 タモ・バケツ等
(つり竿・餌あり)

申し込み先 トンボハウス
TEL・FAX(三七)三八八八

磐田NPO交流センターのホームページ作成中。年内には、見て頂きます。

編集後記

今回の通信で、まちづくりサポーターの編集委員に福田・竜洋・豊田・豊岡へ取材にいつももらいましたが、正直、応対に大きな？をつけた自治体もありました。凝縮したまち(自分たちのすむまち)だけでも市民参加のまちづくりを語ることに大変な思いを持つのに、広いエリアをつないでいくのは、もっともつと力があることです。地域を引っ張る様々な団体と交流をもってその心意気を太い柱にできたらと思います。(村上)



- 磐田NPO交流センター通信 第七号 平成十五年八月一日発行
- 発行者/磐田市総務部地域振興課 千四三八一八六五〇
- 磐田市国府台三一 TEL(〇五三八)三七一四八二一
- 編集/磐田NPO活動推進協議会 千四三八一〇〇七八
- 磐田市中心一丁目 TEL(〇五三八)三六一一八九〇